

研究実施のお知らせ

研究課題名: 怒りの表出が持続する患者の疾患受容過程とそれに伴う看護師の関わり

研 究 期 間: 令和 8 年 7 月～令和 9 年 1 月

当院では、上記課題名の研究を行います。日本看護協会が制定した「看護研究における倫理指針」に基づき、匿名化された情報(診療録等)の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2025 年 2～5 月に当院消化器内科病棟に入院された仙骨骨折、頭部裂傷、低栄養の患者

【研究の目的と意義】

2025 年 2～5 月に当院消化器内科病棟に入院された怒りの表出が持続する患者の疾患受容過程とそれに伴う看護師の関わりを振り返り、患者に適した看護について考察し今後の看護に活かします。また、その内容について報告いたします。

【研究の方法】

診療記録を用いて患者との関わりを振り返りながら、後方視的に援助の在り方について考察します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報(医師記録、看護記録等)を研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者への謝礼等ありません。

【研究の実施体制】

当院で後方視的に診療記録、看護記録の考察を行います。

【お問合せ先】

今回の研究では診療記録、看護記録から得られる必要な情報を利用させていただきたいと考えております。このような情報を提供したくないとお考えの方は、以下の「問い合わせ」へ遠慮なくご連絡をください。また、この研究に協力しないことによって当院での診療・治療において不利益を被ることは一切ございません。

【問合せ先】

仙台市立病院 7 階西病棟

代表 022-308-7111(内線 3471)

研究責任者 看護師長 坂本智子

研究担当者 牧村翔向